西多摩地域広域行政圏計画（令和８年度～令和１２年度）策定にかかる住民アンケート結果

【アンケート期間】①令和７（２０２５）年４月１日（火）～同年４月３０日（水）、②令和７（２０２５）年８月１２日（火）～同年９月１日（月）
【調　査　方　法】アンケート期間①：ＷＥＢによる調査、アンケート期間②：ＷＥＢおよび紙調査票による調査
【調　査　対　象】西多摩地域８市町村の在住・在勤・在学の方など

１　回答者属性（n=512）

（1）市町村別

（3）年齢

（2）性別

（4）西多摩地域での居住期間

２　共同事業に関するアンケート結果

（1）共同事業の認知度（n=512　複数回答可）

（2）継続して取り組むべき共同事業（n=512）

① 行政圏スポーツ大会

② 「多摩の子・多摩子ども詩集」作成事業

③ 行政圏内市町村立図書館広域利用事業

④ 西多摩地域魅力発信PR事業

⑤ 地域包括ケアシステム連携事業

⑥ 消費生活相談広域連携事業

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

３　現在（５年後）の西多摩地域に当てはまる（ふさわしい）イメージ（n=512　５つまで選択可）

【西多摩地域の現在と５年後のイメージ　上位10項目】

現在	項目	割合
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かな地域	87.5%
2	公園や遊歩道など憩いの場が整った地域	27.9%
3	子育てするための環境が整った地域	24.0%
4	高齢者が元気にくらせる地域	20.9%
5	毎日の生活に必要な買い物が便利な地域	19.9%
6	地震や災害に強い安全な地域	19.5%
7	歴史ある街並みや美しい景観に恵まれた地域	17.2%
8	住民やボランティア団体など、人のつながりが感じられる地域	16.2%
9	図書館やコミュニティ施設など公共施設が整った地域	14.5%
10	道路、舗道、下水道など地域基盤が整った地域	12.1%
5年後	項目	割合
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かな地域	59.8%
2	保健、医療、福祉が整った地域	49.0%
3	子育てするための環境が整った地域	41.4%
4	毎日の生活に必要な買い物が便利な地域	36.5%
5	高齢者が元気にくらせる地域	32.4%
6	公共交通機関や広域道路網が整備された便利な地域	26.8%
7	地震や災害に強い安全な地域	25.4%
8	公園や遊歩道など憩いの場が整った地域	20.7%
9	子どもの学力を高める学校教育が充実した地域	20.3%
10	防犯、防火、交通安全の対策が充実し安心して暮らせる地域	18.6%

４　施策の満足度・重要度（n=512）

＜満足度・重要度の算出方法＞

「とても満足（とても重要）」５点、「やや満足（やや重要）」４点、「どちらともいえない」３点、　「やや不満（あまり重要でない）」２点、　「とても不満（全く重要でない）」１点をつけて合計し、　回答者数（「わからない」を除く。）で除したもの。

【重要度・満足度　上位10項目】

重要度		
1	施策17：子育てを支援する	4.42
2	施策19：スケールメリットを生かす	4.24
3	施策13：災害対策に取り組む	4.18
4	施策16：人材を育成する	4.06
5	施策12：公共交通の利便性を向上する	4.03
6	施策14：医療介護ネットワークを構築する	3.98
7	施策11：公共施設の課題に取り組む	3.91
8	施策20：地域共生社会を目指す	3.88
9	施策18：地域分権改革で課題解決する	3.85
10	施策15：空き家・空き店舗の利活用	3.74

満足度		
1	施策18：地域分権改革で課題解決する	4.16
2	施策14：医療介護ネットワークを構築する	4.11
3	施策17：子育てを支援する	4.09
4	施策13：災害対策に取り組む	3.91
5	施策16：人材を育成する	3.88
6	施策19：スケールメリットを生かす	3.69
7	施策15：空き家・空き店舗の利活用	3.58
8	施策21：地域コミュニティと連携する	3.45
9	施策20：地域共生社会を目指す	3.38
10	施策12：公共交通の利便性を向上する	3.37

５　西多摩地域広域行政圏協議会に取り組んでほしい事業（主な御意見）

【公共交通】

・広域的取り組みのデマンドタクシー
・JR の電車本数を維持する取組み
・西多摩地域と立川駅を中心とするＪＲ中央線沿線エリアとの格差解消
　東京都のシルバーパスについても、西多摩地域には「都営バスが数路線のみ」で、都営地下鉄も新交通システムもないが、同じ料金になっている。
・交通不便地を始め、西多摩地域全体のコミュニティバスを運行する等、西多摩地域内における移動の利便性を高める取組み
・各市町村で運用している公共交通の広域連携
・車や自転車乗れず、買い物に行く手段がない住民に対する取組み
・市内循環バスの相互利用、連携、拡充
・モノレール延伸
・バス路線の充実
・コミュニティバスの西多摩全体での運用
・EV 充電設備の広域運用
・公共交通・移動手段の充実
・交通渋滞の解決に向けた取組み
・高齢者等の買い物や病院への送迎サービスや補助
・コミュニティバスの相互乗り入れ
・公共交通の相互乗り入れ、接続

【産業振興】

・市町村が連携した観光事業の強化と大多摩観光の活動を活発化
・８市町村以外も巻き込めるスポーツやマルシェにデジタルトランスフォーメーションのイベント
・多摩産材を活用するイベント
・毎年、会場を持ち回りにした西多摩フェア（各地域の名産を一同に集めた）の実施
・今後 10 年、特に山間部自治体の人口減少や流出は、今以上に進行していき、積極的に広域的な取組みを進めたとしても、課題解決には相当厳しいものと思われる。地域に残る人々や企業などの支援などの取り組みが必要ではないか。
・インバウンド対策
・SNS で拡散したくなるような絶景ポイントの増産
・木の手入れができていない山に対する取組み
・若者世帯の定住、雇用の促進（企業の誘致など）

・道の駅など観光客が集まり、観光客が西多摩地域でお金を使ってもらうための地場産業販売促進やアピール
・各市町村の特色・見どころなどをまとめた観光客向けパンフレットの作成
・企業誘致事業の充実・拡大
・体育施設、ミニコンサートホール、喫茶店の誘致
・自然を売りにした観光地としての発信事業
・大学等研究施設と連携した農地利用
・住宅メーカーや建材企業と連携した多摩材を生かしたイベント(杉木材の普及)
・広域での観光促進（インバウンド誘致含む)、移住促進を行っていただくと共に、自然環境の保全、一次産業の活性化を進めて、都民のオアシスとしての機能を高めていただきたい。
・大規模な商業施設やテーマパークの誘致
・森林を活かしたイベント
・お店の誘致（本屋さん、カフェ、CD ショップ）
・オーバーツーリズム対策
・自然環境を活かしてバリアフリーの遊歩道の整備、森と遊び場づくり、農業・林業体験の通年事業、自転車道の整備
・造園業務への支援強化

【公共施設】
・庁舎を含めた公共施設の共同運営、地域全体に還元のある大型道路等の開発にかかる共同での陳情の実施
・図書館に限らない施設の共同利用･運営
・病院・劇場・球技場等の大規模施設の一体的な整備・運用
・公共施設の再編・集約化
・公共施設を市町村間でシェアする等の連携を強化
・スポーツ施設（人工芝のグランド等）の充実を図り、スポーツの更なる発展から地域創生
・インフラの充実、合理化に関する事業
・各インフラ設備の共同による更新やそれらを支える技術系自治体職員の人材育成
・小さな体育館やプールが点在している印象なので、８市町村で協力して、大きなものを整備してほしい。

【教育関連】
・これからの日本、東京、西多摩地域を支えて行く子供達への高度教育の実施
・自然豊かな環境に住みつつも、学力は 23 区に引けをとらないしっかりとした力をつけさせる教育の実施
・教育関連事業の連携、機会の拡充
・市町村間の垣根をなくした小・中学校などの交流事業やイベントの実施
・学力向上や特色ある学校運営など、教育移住してもらえるような風土づくり
・高校生の海外派遣事業
・不登校支援
・多様性尊重の一環として、手話をすべての児童が学べる機会を提供

【保健医療】
・全国的な医師の偏在化や病院事業経営の悪化に対する解決策の検討
・介護人材の確保
・高齢者や障害者などが安心して歳を重ねられる環境の整備
・いつまでも住み慣れた場所で赤ちゃんからお年寄りまで安心して安全に暮らすことのできる環境の整備
・医療体制の充実
・障害者の居場所作り
・公立病院の運営（経営）
・高齢者が住みやすい環境づくり
・介護支援体制の充実
・持続的な医療提供体制の確保
・医療機関等の充実
・地域福祉、医療の連携で安心に暮らせる地域作り
・地域生活支援拠点事業の実施
・高齢者に対する介護医療体制の強化
・福祉、高齢者の生活環境の整備

【移住定住】
・移住者が先輩移住者から話を聞ける機会や市町村の従来のやり方を学ぶ機会の提供
・空き家持ち主と移住者を円滑にマッチングする工夫

【災害対策】
・災害時などの共助を推進
・災害時の広域的な対応

・災害時の早急なインフラ復帰施策や住民の安全確保
・広域防災訓練と情報共有
・自主防災組織など防災関係での連携

【その他】
・職員の人事交流、技術職の広域活用、徴収業務の共同化、基幹系以外のシステムでも標準化・共同調達
・単独市町村では難しい著名人の講演会や音楽会などの実施
・西多摩地域の自治体は規模が小さい市町村が多いことから、政策等の立案にあたって、保有しているデータの分析（統計的）処理を市町村単位で行うと、サンプル数が少なく、適切な分析が出来ないことが多くある。統計的に必要となる水準を満たすサンプル数を取得し、国などでも盛んに言われている「ＥＢＰＭ」の推進を図るような、データ共有化の仕組み作り。
・公園、いこいの広場の整備
・引きこもり支援対策
・単独市町村では取り組めない事業に注力
・獣害対策
・住宅街の街灯強化
・人と人が支えあえる地域づくり
・西多摩地域の文化、方言等の調査や取りまとめ
・市民活動の活性化。車椅子や身体の不自由な方などの障害者が利用しやすい取組み
・結婚支援
・河川周辺の安全対策
・公衆トイレの整備
・若者達で活気溢れるまちづくり
・町おこしや観光、市町村の元気を取り戻すためのシンボルとなるスポーツチームを作る
・西多摩地域をホームタウンとしたプロスポーツチームの誘致
・自治会活動の省力化に対する協力
・各市町村景観地にある公園、遊歩道の再整備
・史跡環境の再整備
・協議会の存在と、取り組んでいる課題等に関する情報を、オープンにし広める
・人材育成（自治体間の人材交流と共有、専門性の強化、リーダーシップの育成）
・デジタル共通プラットフォームの構築
・共同での地域資源活用プロジェクト
・島との交流

・フリーWi-Fi 環境の拡充
・スギ及びヒノキ花粉症への対策としての森林環境改善、水資源の保全と水源地等の環境保護
・地域コミュニティ(自治会等)の維持発展